

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (357), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (362), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 30, 31, 32, and 33.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend at the top.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	363	課コード	0501	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 健康福祉総合計画の策定及び進行管理	実施計画への位置づけ	●有 ○無	②部課名	健康福祉部・社会福祉課						
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	平成22年度 ~		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.45人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	6,168千円 (うち人件費 3,960千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	83102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 健康福祉総合計画	
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民の満足度や成果に視点をいた行政運営を進めるため、行政評価や事業仕分け、各種審議会を活用しながら、政策の企画・立案からその執行方法と成果までを市民に公表し市民とともに評価します。また、施策や事業が計画的・効果的に進められるよう進行管理を徹底します。			事業目的	社会経済環境の変化に対応し、多様化する福祉ニーズに的確に対応していくために、充分な進行管理のもとに事業を進める。						
(3) 事業内容	内容	平成27年度～31年度までの5か年計画としてスタートした第5次健康福祉総合計画は、健康福祉部・子ども部門の個別計画の上位計画として位置づけし、同時に、社会福祉法第107条に基づく「地域福祉計画」を兼ねて策定し、我孫子市社会福祉協議会が策定する「我孫子市地域福祉活動計画」との連携を図り推進していく。高齢、子ども、障害、健康の取り組みの方向性を明らかにし、地域住民、社会福祉関係者、行政などが相互に連携・協力し、安心とゆたりの健康福祉の実現に向け、総合的に推進することをめざす。			当該年度執行計画	健康福祉総合計画推進協議会が、平成31年度までの第5次健康福祉総合計画について健康福祉部・子ども部門の個別計画進捗状況などの報告や特に重要な案件の協議を行い、現状、課題、改善策などの情報共有を共に、平成32年度スタートの第6次計画策定について協議を行う。第6次計画策定にあたっては、平成30年4月施行、社会福祉法の一部改正による地域共生社会の実現に向けて、我が事・丸ごとの地域福祉推進の理念を踏まえ、地域住民が主体的に地域福祉に取り組み体制を整備する必要があるため、市民にアンケート調査を行い、市民意識や意見を踏まえて進めていく。						
		【政策】平成31年度には、第6次計画の策定作業を実施する。平成30年4月施行、社会福祉法の一部改正による地域共生社会の実現に向けて、我が事・丸ごとの地域福祉の理念を踏まえ、現計画を見直し、第6次計画を策定する。			当該年度活動結果指標	推進協議会開催回数	単位	回	想定値	4		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	健康福祉総合計画に掲載している施策が適正に効果的に執行されるよう進行管理を行う。			直接	事前評価における主要施策の実施率 (実施された施策数/施策数)		%	100	100			
平成32年度	健康福祉総合計画に掲載している施策が適正に効果的に執行されるよう進行管理を行う。			直接	事前評価における主要施策の実施率 (実施された施策数/施策数)		%		100			
平成33年度	健康増進・福祉サービスの提供などの達成度として、企画課が実施している次期「市民アンケート調査」における健康福祉施策の満足度において、「満足」「やや満足」の合計割合を平成23年度調査結果より、各項目で約5ポイントの評価改善する。健康福祉部・子ども部門の個別計画進捗状況を充分把握するため、担当課と充分な連携に努める。現状、課題、改善策などの情報共有を促す。			直接	評価改善達成率 (評価改善を達成した項目数/項目数)		%		100			
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度				
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)		
		健康福祉総合計画推進事業 ○委員報酬費 健康福祉総合計画推進協議会 (3,500円×12人×2回=84,000円) ○筆耕翻訳料 推進協議会会議録作成費 (16,500円×2時間×1回×1.10)	84 36	健康福祉総合計画推進事業 ○委員報酬費 健康福祉総合計画推進協議会 (3,500円×12人×2回=84,000円) ○筆耕翻訳料 推進協議会会議録作成費 (16,500円×2時間×1回×1.10)	84 37		健康福祉総合計画推進事業 ○委員報酬費 健康福祉総合計画推進協議会 (3,500円×12人×2回=84,000円) ○筆耕翻訳料 推進協議会会議録作成費 (16,500円×2時間×1回×1.10)	84 37		健康福祉総合計画推進事業 ○委員報酬費 健康福祉総合計画推進協議会 (3,500円×12人×2回=84,000円) ○筆耕翻訳料 推進協議会会議録作成費 (16,500円×2時間×1回×1.10)	84 37	
		*健康福祉総合計画アンケート調査委託 *印刷製本費 *委員報酬 健康福祉総合計画推進協議会 (3,500円×12人×2回=84,000円) *通信運搬費 アンケート送信・返信用郵送料			1,087 491 84 425							
		予算(決算)額	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
一般財源		120		2,208		121		121		121		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.45		0.45		0.45		0.45		0.45		
正職員人件費		3,960		3,960		3,960		3,960		3,960		
嘱託職員報酬額		0		0		0		0		0		
臨時職員賃金額		0		0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		4,080		6,168		4,081		4,081		4,081		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		4,080千円/回		1,542千円/回								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))					改善検討	
	平成31年度までの第5次健康福祉総合計画は、健康福祉部・子ども部門の個別計画(子ども総合計画、心も身体も健康プラン、介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画、障害者プラン)の上位計画として、各計画の課題や施策の重要性や総合的・統一的に調整を図り、健康福祉全体の現状、課題、改善策などの情報共有や子ども、健康、高齢、障害の各分野別計画との連携を強化していくために必要である。これに加えて、市は社会福祉法の改正に伴う我が事・丸ごとの地域福祉の理念を踏まえ、平成32年度スタートの第6次健康福祉総合計画を策定する必要がある。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>					○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>					○要 ○不要	
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他									
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)			参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 第6次健康福祉総合計画の策定にあたっては、市民のアンケート調査を実施する他、職員以外で構成される推進協議会の意見を踏まえながら進めていく。								○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容		実施した具体的な内容			環境への配慮	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし								○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成			
	100	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託			実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>			<超過理由等>				
△51.18										
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	1.62	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1645), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑤事業実施上の課題と対応, ⑥施行事項, ⑦財源内訳, ⑧人件費等, ⑨事業費(予算(決算)額+正職員人件費), ⑩単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価項目, 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2103), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 30, 31, 32, and 33.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向